

■教育環境の充実

➤ 質の高い教育環境を整備することで学校への愛着を形成し、シビックプライドを醸成

教育投資の充実

○ひょうごの未来を担う高校生等の部活動等応援事業 [5.7億円]

- ・ 県立学校の**部活動等を応援**するため、生徒自らが使い道を決定した生徒ファースト予算により用具などを購入
(全日制高校平均：約200万円/年)

[新]・学校グラウンドの**芝生化のモデル整備**を実施

(R6実施校：社高校、星陵高校)

○県立学校の環境充実 [31.3億円]

- ・ 選択教室の空調整備 (R6：97教室)
- ・ 避難所指定体育館の空調整備 (R6：17校)
- ・ 発展的統合校の特色づくり(講義棟等の整備) (R6：5校)
- ・ 緊急修繕・環境改善事業の強化

○新たな特別支援学校の整備 [25億円]

- ・ 豊岡聴覚特別支援学校・出石特別支援学校の発展的統合
(但馬地域新設特別支援学校(仮称)の整備)
- ・ 東播磨地域の知的障害特別支援学校狭隘化対策
(いなみ野特支の改築、東播磨新設特別支援学校(仮称)の整備、東はりま特支の校舎増築等)



特別支援学校における通学環境の改善 [1.2億円]

[新]・長時間乗車に伴う児童生徒の負担を軽減するため、**スクールバスの運行基準等を見直し、バスを増車** (5台)
(最長乗車時間:現行90分→75分に引き下げ)

[新]・バス停まで送迎する保護者の負担を軽減するため、**バスの位置情報確認サービスを導入**